

令和7年度学校評価(年度末評価)

本年度の 重点目標	<p>(1) カリキュラム・マネジメント 【協働性を大切にする学校】 ア 学びの連続性を重視した教育活動の体系化 イ 社会的・職業的自立に必要なとされるスキルの習得に向けたキャリア教育の充実</p> <p>(2) スクール・マネジメント 【安心安全な学校・地域と共にある学校】 ア 危機回避能力の向上と安全な校内指導体制の構築 イ 保護者、地域、関係諸機関との連携とセンター的機能の充実</p> <p>(3) スタッフ・マネジメント 【高い教師力のある学校】 ア 人権に配慮した質の高い教育の実践による心理的安定の向上 イ DX化の推進による教育活動の効率化</p> <p>※ 各分掌の取組目標についてリンクすることが難しい場合は、三つの観点を意識して自由に設定することができる。その場合は、(1)(2)(3)の最後に「ウ その他」を加えることとする。</p>			
担当	重点目標	具体的方策	結果と課題	達成度
小学部	(1)ア (2)イ (3)ア	社会自立に向けて、落ち着いて自発的に行動する基礎の力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動実践後に、学年会で学習の達成度の情報を共有し授業改善や目標の確認を行ったことで、児童は「できる」という体験を積み重ねられた。 ・今後も学習環境の工夫を進めていきたい。 	90%
中学部	(1)ア (1)イ (3)ア	中学部段階でのキャリア教育と、多様な生徒が目指す姿について共通理解を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育視点から高等部の接続も意識しながら来年度に向けて新たな教育課程の編成をした。 ・目指す生徒像や学ぶ内容や学習集団の共通理解ができ、来年度の実施状況から課題や修正点の共通理解を図っていく。 	80%
高等部	(1)ア (1)イ (3)ア	多様な生徒に対応できる柔軟な教育課程を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科等を合わせた指導の充実、生徒の多様性に対応する総合A、Bコースの教育課程検討に向けた課題共有ができた。 ・小中学部との学びの連続性、自立活動の充実が課題となる。 	90%
教務部	(1)ア (1)イ	各部の教育課程の課題に取り組み、学びの連続性の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・12年間の傾斜をつけた教科書採択をし、各部の課題のまとめと教育課程の編成の見直しを行った。 ・教科書の活用を促進、重複障害学級の教科書の検討とともに、各部の教育課程の実施と検証を行う。 	90%
進路指導部	(2)イ	保護者、生徒を対象に地域の福祉施設関係の職員から卒業後の進路選択や福祉サービスに関する説明を聞く機会を設ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、生徒を対象とした進路に関する説明会や講話を計画して実施することができた。 ・当事者である生徒本人と保護者の意識を高めていく事が今後の課題である。講話を計画して実施することができた。今後はより生徒と保護者のニーズに合わせて適切な情報発信ができるようにする。 	80%
教育支援部	(2)イ	相談業務において、地域の学校の現状を把握し、複数の教師でより良い支援方法を検討することでセンター的機能を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会を通して職員の資質向上を図り、相談業務の手順や地域の学校の現状についての情報を共有することができた。 ・外部専門家活用事業を利用した研修会を開催し教師の資質向上を目指す。 	80%
総務部	(2)ウ	<ul style="list-style-type: none"> ・学校職員が円滑に教育活動を行えるように、業務の効率化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・規約・マニュアルの掲載ルールを再考することで、手続きが簡略化され、更新が進んだ。 ・引き続き職員間で情報を共有し、連携をとりながら効率化を図っていききたい。 	70%
生徒指導部	(2)ア	各訓練の実施方法を見直し、より実践的な訓練を行い、危機管理体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・停電や引き渡しを想定した避難訓練、職員のみでの引渡し訓練を実施し、非常時における動きを確認することができた。 ・今後も様々な想定で実践的な避難訓練等を行っていく。 	90%
保健体育部	(1)ア (2)イ	学校歯科医、職員、保護者との連携を深め、啓発活動を行い、効果的な歯磨きの習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科医による歯科保健講話を紙面開催し、職員、保護者とも連携して啓発活動を行った。 ・今年度の啓発活動を継続し、教材の活用を促すなど歯磨き習慣の定着を図る。 	70%
研修研究部	(3)ア	教師力の向上と授業の質の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・各校務分掌と連携して、教員のニーズに応じた研修や研究の計画、実施に努めた。 ・今後も、ニーズに応じた研修や研究の実施、各研修会の情報提供を十分に行っていく。 	80%
情報図書部	(3)イ	情報セキュリティーや生成AIに関する研修を行う。 ICT支援員と連携して、生徒用タブレットの活用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティー・動画・イラスト編集の研修を行い、情報関連のスキルアップを図った。生徒用タブレットの活用について教務・ICT支援員と連携して進めることができた。次年度も継続して取り組みたい。 	80%
学校関係者評価を実施する主な項目	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム・マネジメント ・スクール・マネジメント ・スタッフ・マネジメント 			